

# 諸種「カルチウム鹽類」ノ生體內輸入ガ 家兎皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰 機能ニ及ボス影響ニ就テ

## 其13. 「ブロームカルチウム葡萄糖溶液」ノ1回注入試験

金澤醫科大學病理學教室(杉山教授指導)

蓮 井 正 治

Masaji Hasui

(昭和15年12月17日 受附)

### 内 容 抄 録

諸種濃度ノ「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ1回注入並ビニ10%葡萄糖溶液ノ1回及ビ連續注入ガ家兎皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス影響ヲ時間的ニ檢索シ、次ノ如キ成績ヲ得タリ。

1. 「ブローム Ca 葡萄糖溶液 3% 1cc 注入ニ於テハ殆ド變化ヲ認メズ、5% 1cc 及ビ10% 1ccニ於テハ8時間後ハ6.8%ノ機能充進ヲ示シ、3% 5cc 及ビ5% 5ccニ於テハ24時間後ハ15.0%ノ機能充進ヲ示セリ。3% 10ccニ於テハ24時間後ハ28.6%ノ機能充進ヲ示シ、5% 10ccニ於テハ48時間後ハ10.3%ノ機能充進ヲ示シ、大量10% 10ccニ於テハ24時間後ハ9.3%ノ機能充進ヲ示セリ。

2. 葡萄糖溶液 10% 1cc 注入ニ於テハ殆ド變化ヲ認メズ、10% 5ccニ於テハ24時間後ハ11.1%ノ機能充進ヲ示シ、10% 10ccニ於テハ24時間後ハ18.3%ノ機能充進ヲ示セリ。

10% 1cc 連續注入ニ於テハ4、5日目ニ於テノミ輕度ノ機能充進ヲ示シ、10% 5cc 連續注入ニ於テハ1日目ヨリ機能充進ヲ示シ、12日目對照ニ復セリ。

3. 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ヲ注入ト葡萄糖溶液及ビ「ブローム Ca 溶液」ヲ比較スルニ、「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ニ於テハ機能充進ノ度最モ顯著ニシテ、次デ葡萄糖、「ブローム Ca」ノ順ナリ。

### 目 次

緒 言	入成績
第1章 實驗材料及ビ實驗方法	第2項 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ1回注入成績
第2章 實驗成績	第3項 10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ1回注入成績
第1節 10%葡萄糖溶液注入成績	第3章 總括及ビ考按
第1項 10%葡萄糖溶液1回注入成績	結 論
第2項 10%葡萄糖溶液連續注入成績	
第2節 「ブローム Ca 葡萄糖溶液」注入成績	
第1項 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ1回注	

## 緒 言

1904年 Alter 氏甫メテ葡萄糖溶液ノ靜脈内注入ヲ唱導セシモ世人之ヲ顧ミザリキ。然ルニ1914年 Büdingen 氏ガ本劑ヲ心臟機能障礙ニ使用シ卓効アルヲ報告セシヨリ、廣ク治療界ニ奨揚セラレ今日ノ如キ隆盛ヲ來セリ。由來葡萄糖ノ生體ニ及ボス影響ニ關シテハ各種ノ方面ヨリ精細ナル研究ガ遂行セラレ、其業績甚ダ多シ。

今生物生存上重要ナル諸機能ヲ有スル網狀織内被細胞系ト葡萄糖トニ關シテハ、臼井、田村、Koster, Goldzieher, Collens, 河野及ビ山浦氏等ノ業績アリ。而シテ氏等ノ實驗ヲ綜合スルニ相異ナレル方法ニ依リ實驗セルニ拘ラズ、葡萄糖溶液注入ガ何レモ網狀織内被細胞系ノ機能ヲ充進セシムモノナルヲ認メタリ。

余ハ曩ニ杉山式墨粒貪喰試験法ニ依リ、諸種カルチウム鹽類ノ生體内輸入ガ家兎皮下網狀織内被細胞系ノ貪喰機能ニ及ボス影響ヲ時間的ニ檢索シ、逐次報告スル所アリタリ。而シテ少量

ニ於テハ影響僅少ナルレドモ適量注入ニ於テハ機能充進ヲ示シ、大量注入ニ於テハ時ニ却ツテ機能低下ヲ示スヲ認メタリ。

今 Helwig 氏ニ依レバ高張葡萄糖溶液ノ靜脈内注入ハ結核症ニ來ル二次的心臟衰弱ニ對シ著効アルヲ認メ、殊ニ「カルチウム」ト葡萄糖溶液トノ混合注入ニ於テハ頗ル有効ニシテ、結核症ノミナラズ各種疾病ニ依ル心臟衰弱症ニモ亦好結果ヲ認メシメタリト云フ。

於此、余ハ「ブローム Ca ト葡萄糖溶液トノ混合注入ガ家兎皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ如何ナル影響アルヤヲ檢索スルハ興味アルコト、信ジ、既ニ前回ニ於テ報告セルト同様方法ニ依リ、先ヅ10%葡萄糖溶液ノ1回並ビニ連續注入ガ該細胞系ニ及ボス影響ニ就キ檢索シ、次デ「ブローム Ca 葡萄糖溶液ノ混合注入ガ皮下組織球ニ及ボス影響ニ就テ檢索セリ。今茲ニ之等ノ成績ヲ報告スル所アラントス。

## 第1章 實驗材料及ビ實驗方法

## 1. 實驗動物

健康成熟家兎ヲ一定期間、一定食ニテ飼育シタル後使用セリ。

## 2. 「ブローム Ca 葡萄糖溶液注射

武田製注射用「ブローム Ca, (CaBr<sub>2</sub> · H<sub>2</sub>O) 及ビ第一製藥注射用葡萄糖ヲ使用シ。先ヅ最初ニ10%葡萄糖溶液ヲ作製セリ、而シテ之ニ所要ノ「ブローム Ca ヲ加へ、夫々3%, 5%及ビ10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液ヲ調製シ、蒸氣消毒器内ニテ滅菌消毒シテ實驗ニ供セリ。而シテ本溶液ハ共ニ靜脈内注入ヲ行ヒタリ。

## 3. 皮下組織球採取

1回注射(葡萄糖及ビ「ブローム Ca 葡萄糖)ヲナセル家兎ニ於テハ注入後4, 8, 24, 48, 72時間等注入ニヨル影響ノ消失スルマデ續行シ、連續注射(葡萄糖)ヲナセル家兎ニ於テハ毎注射直前ニ行フコト、シ、注射ヲ續行セル間ハ毎日1回宛採取シ、注射中止後ハ2日乃至3日間隔ヲ置キテ行フコト、セリ。

## 4. 墨粒貪喰試験法

第1報ニ詳述セルモ大略ヲ記セバ次ノ如シ、先ヅ動物臺上ニ家兎ヲ固定シ、背部ヨリ皮下組織ノ小片ヲ小鈹、有鈹鑷子ヲ以テ手早ク採取シ、Ringer 氏液ヲ盛リタル小「シヤール」ニ入レ、更ニ墨汁ヲ入レタル小「シヤール」ニ移シ、注射器ヲ用ヒテ墨汁ヲ組織内ニ充分ニ注入シ、2時間 37°C 孵卵器中ニ放置ス。次デ1時間「ノイトラール赤超生體染色ヲ施シ、載物硝子上ニ一部ヲ切り取り油浸裝置ノ下ニ鏡檢ス。

## 5. 平均貪喰度ノ算出

皮下組織球ノ平均貪喰度ヲ決定スルニハ、毎常 100個ノ該細胞ニ就キ墨粒貪喰ノ有無ヲ檢シ、其程度ニヨリ「一」、「±」、「+」、「++」、「+++」ナル5種ニ別チ、夫々0, 1, 2, 3, 4ナル數値ヲ與へ、皮下組織球100個ノ貪喰度ノ總和ヲ100ヲ以テ除シタル商ヲ平均貪喰度トセリ。

## 第2章 實驗成績

### 第1節 10%葡萄糖溶液注入成績

10%葡萄糖溶液＝溶解セル「ブロームCa溶液 (「ブロームCa葡萄糖溶液) 注入ノ家兎皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス影響ヲ檢索スルニ當リ, 余ハ曩ニ諸種濃度ノ「ブロームCa溶液ノ1回並ビニ連續注入ノ該細胞系ニ及ボス影響ニツキ檢索シ報告セリ.

依テ今葡萄糖溶液ノ單獨注入ガ該細胞系ニ如何ナル影響アルヤヲ檢索シ, 次デ「ブロームCa葡萄糖溶液注入ニ及バントセリ. 即チ豫備實驗トシテ10%葡萄糖溶液ノ1回並ビニ連續注入ガ家兎皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス影響ニ就キ檢索セリ.

#### 第1項 10%葡萄糖溶液1回注入成績

10%葡萄糖溶液1回注入成績ハ第1表乃至第7表並ビニA圖ニ示セルガ如シ.

10%葡萄糖溶液1cc(絶對量0.1g)1回注入ニ於テ, 第1號家兎ハ注入4時間, 8時間, 24時間, 48時間等何レノ時間ニ於テモ殆ド變化ヲ認メズ.

第2號家兎ニ於テモ第1號家兎ニ於ケルガ如ク殆ド變化ヲ認メズ.

即チ上記2例ニ依リ10%1cc注入スルモ殆ド影響ヲ認メズト云フヲ得ベシ.

10%葡萄糖溶液5cc(絶對量0.5g)1回注入ニ於テ, 第3號家兎ハ注入4時間後ヨリ機能充進

ヲ示シ, 8時間後ハ7.3%, 24時間後ハ10.9%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ.

第4號家兎ニ於テモ8時間後ハ4.7%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ11.3%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後ハ6.6%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ.

上記2例ニ依リ10%5cc注入ニヨル皮下組織球ノ貪喰機能ヲ見ルニ, 注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ6.0%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ11.1%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ.

10%葡萄糖溶液10cc(絶對量1.0g)1回注入ニ於テ, 第5號家兎ハ注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ12.0%ノ機能充進ヲ, 24時間後ハ19.4%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ.

第6號家兎ニ於テハ注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ10.5%ノ機能充進ヲ, 24時間後ハ17.1%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ.

上記2例ニ依リ10%10cc注入ニヨル皮下組織球ノ貪喰機能ヲ見ルニ, 注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ11.3%ノ充進ヲ, 24時間後ハ18.3%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ.

第1表 皮下組織球墨粒貪喰試驗成績

第1號家兎 10%葡萄糖溶液1cc 1回注射 2020g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均對貪率ス喰	對照平均對貪率ス喰ノ増減	モンチ(%)
		一	士	+	++	+++				
		0	1	2	3	4				
對照(注射前)	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	1
4	100	0	96	4	0	0	1.04	99.0	-1.0	0
8	100	0	94	6	0	0	1.06	100.9	+0.9	1
24	100	0	94	6	0	0	1.06	100.9	+0.9	2
48	100	0	59	5	0	0	1.05	100.0	0	0

第 2 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第 2 號家兎 10%葡萄糖溶液 1 cc 1 回注射 2080g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均貪喰率 對平均貪喰率	對照平均貪喰率 對平均貪喰率	増減 %	モノチーテ
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	96	4	0	0	1.04	100.0	0	1	
	100	0	96	4	0	0	1.04	100.0	0	1	
	8	100	0	95	5	0	0	1.05	101.0	+ 1.0	2
	24	100	0	97	3	0	0	1.03	99.0	- 1.0	1
	48	100	0	95	5	0	0	1.05	101.0	+ 1.0	1

第 3 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第 3 號家兎 10%葡萄糖溶液 5 cc 1 回注射 2100g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均貪喰率 對平均貪喰率	對照平均貪喰率 對平均貪喰率	増減 %	モノチーテ
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	90	10	0	0	1.10	100.0	0	1	
	100	0	86	14	0	0	1.14	103.6	+ 3.6	0	
	8	100	0	82	18	0	0	1.18	107.3	+ 7.3	2
	24	100	0	81	16	3	0	1.22	110.9	+10.9	1
	48	100	0	86	14	0	0	1.14	103.6	+ 3.6	1
72	100	0	90	10	0	0	1.10	100.0	0	2	

第 4 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第 4 號家兎 10%葡萄糖溶液 5 cc 1 回注射 2070g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均貪喰率 對平均貪喰率	對照平均貪喰率 對平均貪喰率	増減 %	モノチーテ
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	94	6	0	0	1.06	100.0	0	1	
	100	0	92	8	0	0	1.08	101.9	+ 1.9	0	
	8	100	0	89	11	0	0	1.11	104.7	+ 4.7	2
	24	100	0	85	12	3	0	1.18	111.3	+11.3	1
	48	100	0	87	13	0	0	1.13	106.6	+ 6.6	1
72	100	0	92	8	0	0	1.08	101.9	+ 1.9	2	

第 5 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第 5 號家兎 10%葡萄糖溶液10cc 1回注射 2120g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均對貪率 百分率ノス喰	對照平均對貪率 百分率ノ増減	モノチーテ (%)	
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	2	
	100	0	87	13	0	0	1.13	104.6	+ 4.6	1	
	8	100	0	84	11	5	0	1.21	112.0	+12.0	1
	24	100	0	80	13	5	2	1.29	119.4	+19.4	2
	48	100	0	87	13	0	0	1.13	104.6	+ 4.6	1
	72	100	0	91	9	0	0	1.09	100.9	+ 0.9	1
	96	100	0	93	7	0	0	1.07	99.1	- 0.9	0

第 6 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第 6 號家兎 10%葡萄糖溶液10cc 1回注射 1980g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均對貪率 百分率ノス喰	對照平均對貪率 百分率ノ増減	モノチーテ (%)	
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	0	
	100	0	92	8	0	0	1.08	102.8	+ 2.8	0	
	8	100	0	87	10	3	0	1.16	110.5	+10.5	1
	24	100	0	83	12	4	1	1.23	117.1	+17.1	1
	48	100	0	88	12	0	0	1.12	106.7	+ 6.7	2
	72	100	0	96	4	0	0	1.04	99.0	- 1.0	0
	96	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	1

第 7 表 10%葡萄糖溶液 1 回注入實驗成績ノ總括

葡萄糖溶液濃度 (%)	注入液量 (cc)	葡萄糖絕對量 (g)	對照平均貪喰度ニ對スル百分率ノ増(+)減(-)					
			4時間後	8時間後	24時間後	48時間後	72時間後	96時間後
			10	1	0.1	- 1.0	+ 0.9	+ 0.9
"	"	"	0	+ 1.0	- 1.0	+ 1.0		
概 略 平 均			- 0.5	+ 1.0	- 0.1	+ 0.5		
10	5	0.5	+ 3.6	+ 7.3	+10.9	+ 3.6	0	
"	"	"	+ 1.9	+ 4.7	+11.3	+ 6.6	+ 1.9	
概 算 平 均			+ 2.8	+ 6.0	+11.1	+ 4.1	+ 1.0	
10	10	1.0	+ 4.6	+12.0	+19.4	+ 4.6	+ 0.9	- 0.9
"	"	"	+ 2.8	+10.5	+17.1	+ 6.7	- 1.0	0
概 略 平 均			+ 3.7	+11.3	+18.3	+ 5.7	- 0.1	- 0.5

**第2項 10%葡萄糖溶液連續注入成績**

10%葡萄糖溶液連續注入成績ハ第8表乃至第12表並ビニB圖ニ示セルガ如シ。

10%葡萄糖溶液1ccヲ1日1回宛5日間連續注入シ、總量0.5gニ達セル場合ニ於テ、第7號家兎ハ實驗1、2、3日目迄ハ變化ヲ認メズ、4、5日目ニハ2.8%ノ機能亢進ヲ示シ、7日以後ハ對照ニ復セリ。

第8號家兎ニ於テモ實驗1、2、3日目迄ハ變化ヲ認メズ、4日目ニ僅ニ機能亢進ヲ示シ、5日目3.6%ノ機能亢進ヲ示シ、7日目對照ニ復セリ。

上記2例ニ依リ10%1cc連續注入ニヨル食喰機能ノ影響ヲ見ルニ、第1、2、3日目迄ハ變化ヲ認メズ、4日目ヨリ機能亢進ヲ示シ、5日目ハ3.2%ノ機能亢進ヲ示シ、7日目對照ニ復セリ。

10%葡萄糖溶液5ccヲ1日1回宛5日間連續

注入シ、總量2.5gニ達セル場合ニ於テ、第9號家兎ハ實驗第1日目ヨリ機能亢進ヲ示シ、1—2日目ハ11.1%ノ機能亢進ヲ示シ、3日、4日、5日目ハ16.7%ノ機能亢進ヲ示シ、12日目對照ニ復セリ。

第10號家兎ニ於テモ實驗第1日目ハ10.8%ノ機能亢進ヲ示シ、2—3日目ハ15.3%、5日目ハ19.8%ノ機能亢進ヲ示シ、12日目對照ニ復セリ。

上記2例ニ依リ10%5cc連續注入ニ依ル食喰機能ノ影響ヲ見ルニ、第1日目ヨリ11.0%ノ機能亢進ヲ示シ、3日目ハ16.0%、5日目ハ18.3%ノ機能亢進ヲ示シ、12日目對照ニ復セリ。

皮下組織球ノ形態ヲ見ルニ、機能亢進ヲ示セル場合ニ於テハ、1回注射ニ於テモ連續注射ニ於テモ共ニ、細胞著シク大トナリ、「ノイトラール赤超生體染色モ亦可良ニシテ美麗ナル形態ヲ示セリ。

**第8表 皮下組織球墨粒食喰試驗成績**

第7號家兎 10%葡萄糖溶液1cc 連續注射 2120g ♀

經過 日數	10溶 %液 葡萄 糖	觀察 細胞 數	食 喰 度					平均 食喰 度	對照 平均 對食 率 %	對照 平均 對食 率 %	增減 %	モノ チー テ
			—	±	+	++	+++					
			0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	1cc	100	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	1	
1	〃	〃	0	92	8	0	0	1.08	100.9	+ 0.9	0	
2	〃	〃	0	92	8	0	0	1.08	100.9	+ 0.9	1	
3	〃	〃	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	1	
4	〃	〃	0	90	10	0	0	1.10	102.8	+ 2.8	0	
5	〃	〃	0	90	10	0	0	1.10	102.8	+ 2.8	2	
7	〃	〃	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	1	
9	〃	〃	0	92	8	0	0	1.08	100.9	+ 0.9	1	
12	〃	〃	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	1	

第 9 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績  
第 8 號家兎 10%葡萄糖溶液 1 cc 連續注射 2050g ♂

經過 日數	10溶 %液 葡萄 糖	觀察 細胞 數	貪 喰 度					平均 貪 喰 度	對照 平均 百分 率 對 貪 喰 ノ	對照 平均 百分 率 對 貪 喰 ノ	增 減 %	モノ チ ー テ
			一	士	+	++	+++					
			0	1	2	3	4					
對 照 (注射前)	1cc	100	0	90	10	0	0	1.10	100.0	0	1	
1	"	"	0	91	9	0	0	1.09	99.1	- 0.9	1	
2	"	"	0	89	11	0	0	1.11	100.9	+ 0.9	0	
3	"	"	0	89	11	0	0	1.11	100.9	+ 0.9	1	
4	"	"	0	87	13	0	0	1.13	102.7	+ 2.7	2	
5	"	"	0	86	14	0	0	1.14	103.6	+ 3.6	1	
7	"	"	0	89	11	0	0	1.11	100.9	+ 0.9	1	
9	"	"	0	89	11	0	0	1.11	100.9	+ 0.9	0	
12	"	"	0	91	9	0	0	1.09	99.1	- 0.9	2	

第 10 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績  
第 9 號家兎 10%葡萄糖溶液 5 cc 連續注射 2000g ♂

經過 日數	10溶 %液 葡萄 糖	觀察 細胞 數	貪 喰 度					平均 貪 喰 度	對照 平均 百分 率 對 貪 喰 ノ	對照 平均 百分 率 對 貪 喰 ノ	增 減 %	モノ チ ー テ
			一	士	+	++	+++					
			0	1	2	3	4					
對 照 (注射前)	5cc	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	1	
1	"	"	0	82	16	2	0	1.20	111.1	+11.1	1	
2	"	"	0	82	16	2	0	1.20	111.1	+11.1	2	
3	"	"	0	79	16	5	0	1.26	116.7	+16.7	1	
4	"	"	0	79	16	5	0	1.26	116.7	+16.7	1	
5	"	"	0	78	18	4	0	1.26	116.7	+16.7	0	
7	"	"	0	85	15	0	0	1.15	106.5	+ 6.5	1	
9	"	"	0	90	10	0	0	1.10	101.8	+ 1.8	2	
12	"	"	0	93	7	0	0	1.07	99.1	- 0.9	1	
15	"	"	0	91	9	0	0	1.09	100.9	+ 0.9	1	

第 11 表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績  
第 10 號家兎 10%葡萄糖溶液 5 cc 連續注射 2120g ♂

經過 日數	10溶 %液 葡萄 糖	觀察 細胞 數	貪 喰 度					平均 貪 喰 度	對照 平均 百分 率 對 貪 喰 ノ	對照 平均 百分 率 對 貪 喰 ノ	增 減 %	モノ チ ー テ
			一	士	+	++	+++					
			0	1	2	3	4					
對 照 (注射前)	5cc	100	0	89	11	0	0	1.11	100.0	0	1	
1	"	"	0	82	13	5	0	1.23	110.8	+10.8	0	
2	"	"	0	78	16	6	0	1.28	115.3	+15.3	2	
3	"	"	0	79	15	5	1	1.28	115.3	+15.3	1	
4	"	"	0	80	15	5	0	1.25	112.6	+12.6	1	
5	"	"	0	77	15	6	2	1.33	119.8	+19.8	1	
7	"	"	0	84	16	0	0	1.16	104.5	+ 4.5	2	
9	"	"	0	86	14	0	0	1.14	102.7	+ 2.7	0	
12	"	"	0	88	12	0	0	1.12	100.9	+ 0.9	1	
15	"	"	0	89	11	0	0	1.11	100.0	0	1	

第12表 10%葡萄糖溶液連続注入試験

溶液濃度 (%)	1液回注入量 (cc)	注射回数	總量 (g)	家兔體重對重 (g)	對照ニ對スル平均喰喰度百分率ノ増(+)-減(-)									
					經過日數	1日	2日	3日	4日	5日	7日	9日	12日	15日
10	1	5	0.5	0.25	0	+ 0.9	+ 0.9	0	+ 2.8	+ 2.8	0	+ 0.9	0	
"	"	"	"	"	0	- 0.9	+ 0.9	+ 0.9	+ 2.7	+ 3.6	+ 0.9	+ 0.9	0.9	
概 略 平 均					0	0	+ 0.9	+ 0.5	+ 2.8	+ 3.2	+ 0.5	+ 0.9	0.5	
10	5	5	2.5	1.25	0	+11.1	+11.1	+16.7	+16.7	+16.7	+ 6.5	+ 1.8	- 0.9	+ 0.9
"	"	"	"	"	0	+10.8	+15.3	+15.3	+12.6	+19.8	+ 4.5	+ 2.7	+ 0.9	0
概 略 平 均					0	+11.0	+13.2	+16.0	+14.7	+18.3	+ 5.5	+ 2.3	0	+ 0.5

## 第2節 「ブローム Ca 葡萄糖溶液注入成績

### 第1項 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ1回注入成績

3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1回注入ノ家兔皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒喰喰機能ニ及ボス影響ハ第13表乃至第19表並ビニ第1圖ニ示セルガ如シ。

3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1cc(絶對量ブローム Ca 0.03g, 葡萄糖 0.1g,) 1回注入ニ於テハ第11號家兔ハ4時間, 8時間, 24時間等イツレノ時間ニ於テモ變化ヲ認メズ。

第12號家兔ニ於テモ第1號家兔ニ於ケルガ如ク, 殆ド變化ヲ認メズ。

3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」5cc(絶對量ブローム Ca 0.15g, 葡萄糖 0.5g) 1回注入ニ於テハ第13號家兔ハ注入4時間後ハ殆ド變化ヲ認メズ, 8時間後ハ4.8%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ11.4%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後モ7.6%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ。

第14號家兔ニ於テハ注入4時間後ハ變化ヲ認メズ, 8時間後ハ8.3%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ對照喰喰度 1.08ハ1.26ニ増加シ, 16.7%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後モ7.4%ノ機能充進ヲ保チ, 72時間後對照ニ復セリ。

上記2例ニ依リ之ヲ觀ルニ3%5cc注入ニ於テハ, 注入4時間後ハ變化ヲ認メズ, 8時間後

ハ6.6%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ16.1%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後ハ7.5%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ。

3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」10cc(絶對量「ブローム Ca 0.3g, 葡萄糖 1.0g) 1回注入ニ於テ第15號家兔ハ注入4時間後ヨリ4.5%ノ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ9.1%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ對照喰喰度 1.10ハ1.31ニ増加シ, 19.1%ノ機能充進ヲ示セリ。48時間後モ16.4%ノ機能充進ヲ示シ, 96時間後對照ニ復セリ。

第16號家兔ハ注入4時間後殆ド變化ヲ認メズ, 8時間後ハ19.0%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ對照喰喰度 1.05ハ1.45ニ増加シ38.1%ノ機能充進ヲ示セリ, 48時間後モ24.8%ノ機能充進ヲ示シ, 96時間後對照ニ近似セリ。

上記2例ニ依リ之ヲ觀ルニ3%10cc注入ニ於テハ注入4時間後ヨリ3.2%ノ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ14.1%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ最高ニシテ28.6%ノ機能充進ヲ示セリ, 48時間後ハ20.6%ノ機能充進ヲ示シ, 96時間後對照ニ復セリ。

皮下組織球ノ形態ヲ見ルニ機能充進ニ一致シテ細胞著シク大トナリ, 且ツ「ノイトラール赤染色」超生體染色モ亦著シク良好ニシテ美麗ナル形態ヲ示セリ。而シテ斯ル變化ハ注入24時間後ハ最モ著明ニシテ墨粒喰喰機能ノ回復ト共ニ正常ニ復セリ。



第13表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第11號家兎 3%「ブローム」Ca 葡萄糖溶液 1cc 1回注射 1800g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均對貪率 百分率ノス喰	對照平均對貪率 百分率ノス喰	増減 百分率	モノチーテ (%)
		一	士	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	96	4	0	0	1.04	100.0	0	2	
	100	0	98	2	0	0	1.02	98.1	- 1.9	1	
	8	100	0	94	6	0	0	1.06	101.9	+ 1.9	2
	24	100	0	96	4	0	0	1.04	100.0	0	1
	48	100	0	98	2	0	0	1.02	98.1	- 1.9	2
	72	100	0	96	4	0	0	1.04	100.0	0	1

第14表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第12號家兎 3%「ブローム」Ca 葡萄糖溶液 1cc 1回注射 1850g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均對貪率 百分率ノス喰	對照平均對貪率 百分率ノス喰	増減 百分率	モノチーテ (%)
		一	士	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	1	
	100	0	95	5	0	0	1.05	98.1	- 1.9	0	
	8	100	0	93	7	0	0	1.07	0	0	
	24	100	0	95	5	0	0	1.05	98.1	- 1.9	2
	48	100	0	95	5	0	0	1.05	98.1	- 1.9	1
	72	100	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	1

第15表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第13號家兎 3%「ブローム」Ca 葡萄糖溶液 5cc 1回注射 2010g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均對貪率 百分率ノス喰	對照平均對貪率 百分率ノス喰	増減 百分率	モノチーテ (%)
		一	士	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	1	
	100	0	93	7	0	0	1.07	101.9	+ 1.9	2	
	8	100	0	90	10	0	0	1.10	104.8	+ 4.8	1
	24	100	0	86	11	3	0	1.17	111.4	+11.4	1
	48	100	0	87	13	0	0	1.13	107.6	+ 7.6	2
	72	100	0	93	7	0	0	1.07	101.9	+ 1.9	3
	96	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	1

第16表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第14號家兎 3%ブローム Ca 葡萄糖溶液 5cc 1回注射 2110g ♂

注射後経過	観察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對ル度平百分對貪率ス喰	對照平百分對貪率ノ	増減	モン(%) チーテ
		一	士	+	卅	卅					
		0	1	2	3	4					
對照(注射前)	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	1	
4	100	0	90	10	0	0	1.10	101.8	+ 1.8	2	
8	100	0	86	11	3	0	1.17	108.3	+ 8.3	1	
24	100	0	79	16	5	0	1.26	116.7	+16.7	1	
48	100	0	84	16	0	0	1.16	107.4	+ 7.4	2	
72	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	3	
96	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	1	

第17表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第15號家兎 3%ブローム Ca 葡萄糖溶液10cc 1回注射 1860g ♂

注射後経過	観察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對ル度平百分對貪率ス喰	對照平百分對貪率ノ	増減	モン(%) チーテ
		一	士	+	卅	卅					
		0	1	2	3	4					
對照(注射前)	100	0	90	10	0	0	1.10	100.0	0	0	
4	100	0	85	15	0	0	1.15	104.5	+ 4.5	2	
8	100	0	82	16	2	0	1.20	109.1	+ 9.1	0	
24	100	0	72	20	8	0	1.36	123.6	+23.6	2	
48	100	0	77	18	5	0	1.28	116.4	+16.4	1	
72	100	0	88	12	0	0	1.12	101.8	+ 1.8	2	
96	100	0	90	10	0	0	1.10	100.0	0	3	

第18表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第16號家兎 3%ブローム Ca 葡萄糖溶液10cc 1回注射 1920g ♂

注射後経過	観察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對ル度平百分對貪率ス喰	對照平百分對貪率ノ	増減	モン(%) チーテ
		一	士	+	卅	卅					
		0	1	2	3	4					
對照(注射前)	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	0	
4	100	0	93	7	0	0	1.07	101.9	+ 1.9	1	
8	100	0	80	15	5	0	1.25	119.0	+19.0	1	
24	100	0	68	22	7	3	1.45	138.1	+38.1	2	
48	100	0	73	23	4	0	1.31	124.8	+24.8	2	
72	100	0	87	13	0	0	1.13	107.6	+ 7.6	1	
96	100	0	93	7	0	0	1.07	101.9	+ 1.9	2	

第19表 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1回注入實驗成績ノ總括

注入濃度 (%)	注入液量 (cc)	「ブローム Ca」絶對量 (g)	葡萄糖絶對量 (g)	對照平均貪喰度ニ對スル百分率ノ増減(+)(-)					
				4時間後	8時間後	24時間後	48時間後	72時間後	96時間後
3	1	0.03	0.1	- 1.9	+ 1.9	0	- 1.9	0	
"	"	"	"	- 1.9	0	- 1.9	- 1.9	0	
概 略 平 均				- 1.9	+ 1.0	- 1.0	- 1.9	0	
3	5	0.15	0.5	+ 1.9	+ 4.8	+11.4	+ 7.6	+ 1.9	0
"	"	"	"	+ 1.8	+ 8.3	+16.7	+ 7.4	0	0
概 略 平 均				+ 1.8	+ 6.6	+14.1	+ 7.5	+ 1.0	0
3	10	0.3	1.0	+ 4.5	+ 9.1	+19.1	+16.4	+ 1.8	0
"	"	"	"	+ 1.9	+19.0	+38.1	+24.8	+ 7.6	1.9
概 略 平 均				+ 3.2	+14.1	+28.6	+20.6	+ 4.7	1.0

第2項 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ1回注入成績

5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1回注入ニ依ル家兔皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス成績ハ第20表乃至26表並ビニ第2圖ニ示セルガ如シ。

5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1cc(絶對量「ブローム Ca」0.05g, 葡萄糖0.1g) 1回注入ニ於テ第17號家兔ハ注入4時間後ハ變化ヲ認メズ, 8時間後ハ9.4%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後モ7.5%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後對照ニ復セリ。

第18號家兔ニ於テ注入4時間後ハ變化ヲ認メズ, 8時間及ビ24時間後ハ共ニ3.8%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後對照ニ復セリ。

上記2例ニ依リ之ヲ觀ルニ5%1cc注入ニ於テハ, 注入4時間後ハ變化ヲ認メズ, 8時間後ハ6.6%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ5.7%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後對照ニ復セリ。

5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」5cc(絶對量「ブローム Ca」0.25g, 葡萄糖0.5g) 1回注入ニ於テ第19號家兔ハ注入4時間後ハ變化ヲ認メズ, 8時間後ハ3.7%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ對照貪喰度 1.08ハ1.22ニ増加シ13.0%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後モ8.3%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ。

第20號家兔ニ於テ注入4時間後ハ5.6%ノ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ7.5%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ對照貪喰度1.07ハ1.27ニ増加シテ18.7%ノ機能充進ヲ示セリ, 48時間後ハ8.4%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後對照ニ復セリ。

上記2例ニ依リ之ヲ觀ルニ5%5cc注入ニ於テハ注入4時間後ハ2.8%ノ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ5.6%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ15.9%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後モ尙4.2%ノ充進ヲ保チ, 72時間後對照ニ復セリ。

5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」10cc(絶對量「ブローム Ca」0.5g, 葡萄糖1.0g) 1回注入ニ於テ第21號家兔ハ注入4時間後ハ8.3%ノ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ對照ニ近似シ, 24時間後ハ6.4%ノ充進ヲ, 48時間後ハ7.3%ノ充進ヲ示シ, 72時間後ハ5.5%ノ機能充進ヲ示シ, 96時間後對照ニ復セリ。

第22號家兔ニ於テ注入4—8時間後ハ3.8%ノ機能充進ヲ示シ, 24時間後ハ5.6%ノ機能充進ヲ示シ, 48時間後ハ13.2%ノ機能充進ヲ示シ, 72時間後モ尙機能充進ヲ保チ, 96時間後對照ニ復セリ。

上記2例ニ依リ之ヲ觀ルニ5%10cc注入ニ於テハ, 注入4時間後ハ6.1%ノ機能充進ヲ示シ, 8時間後ハ2.4%ノ充進ヲ, 24時間後ハ6.0%ノ充進ヲ, 48時間後ハ10.3%ノ機能充進ヲ示セ

リ。而シテ72時間後モ尙4.7%ノ機能充進ヲ保チ、96時間後對照ニ復セリ。

5% 10cc 注入スルモ家兎ニハ何等ノ副作用ヲ見ザリキ。

皮下組織球ノ形態ヲ見ルニ機能充進ニ一致シ

テ細胞著シク大トナリ、且ツ「ノイトラール赤超生體染色モ亦著シク良好ニシテ美麗ナル形態ヲ示セリ。而シテ斯ル變化ハ注入24時間後ハ最も著明ニシテ、墨粒食喰機能ノ回復ト共ニ正常ニ復セリ。

第20表 皮下組織球墨粒食喰試験成績  
第17號家兎 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1cc 1回注射 1950g ♂

注射後経過	觀察細胞數	食 喰 度					平均食喰度	對照平均百分對食率 ス喰	對照平均百分對食率 ス喰ノ	對照平均百分對食率 ス喰ノ	モンチーテ (%)
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	94	6	0	0	1.06	100.0	0	0	
4	100	0	95	5	0	0	1.05	99.0	- 1.0	2	
8	100	0	84	16	0	0	1.16	109.4	+ 9.4	1	
24	100	0	86	14	0	0	1.14	107.5	+ 7.5	2	
48	100	0	94	6	0	0	1.06	100.0	0	2	
72	100	0	94	6	0	0	1.06	100.0	0	1	

第21表 皮下組織球墨粒食喰試験成績  
第18號家兎 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1cc 1回注射 2000g ♂

注射後経過	觀察細胞數	食 喰 度					平均食喰度	對照平均百分對食率 ス喰	對照平均百分對食率 ス喰ノ	對照平均百分對食率 ス喰ノ	モンチーテ (%)
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	96	4	0	0	1.04	100.0	0	1	
4	100	0	97	3	0	0	1.03	99.0	- 1.0	2	
8	100	0	92	8	0	0	1.08	103.8	+ 3.8	1	
24	100	0	92	8	0	0	1.08	103.8	+ 3.8	2	
48	100	0	95	5	0	0	1.05	101.0	+ 1.0	2	
72	100	0	97	3	0	0	1.03	99.0	- 1.0	3	

第22表 皮下組織球墨粒食喰試験成績  
第19號家兎 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 5cc 1回注射 1880g ♂

注射後経過	觀察細胞數	食 喰 度					平均食喰度	對照平均百分對食率 ス喰	對照平均百分對食率 ス喰ノ	對照平均百分對食率 ス喰ノ	モンチーテ (%)
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	0	
4	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	1	
8	100	0	88	12	0	0	1.12	103.7	+ 3.7	1	
24	100	0	82	14	4	0	1.22	113.0	+13.0	2	
48	100	0	83	17	0	0	1.17	108.3	+ 8.3	1	
72	100	0	90	10	0	0	1.10	101.8	+ 1.8	2	

第23表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第20號家兎 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 5cc 1回注射 2020g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對ル度百ニ均分對貪率ス喰	對ル度百ニ均分對貪率ス喰ノ	増減	モノチーテ (%)
		一	士	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	93	7	0	0	1.07	100.0	0	0	
	100	0	87	13	0	0	1.13	105.6	+ 5.6	2	
	8	100	0	85	15	0	1.15	107.5	+ 7.5	2	
	24	100	0	77	19	4	1.27	118.7	+18.7	1	
	48	100	0	84	16	0	1.16	108.4	+ 8.4	2	
	72	100	0	93	7	0	1.07	100.0	0	0	

第24表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第21號家兎 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液10cc 1回注射 2100g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對ル度百ニ均分對貪率ス喰	對ル度百ニ均分對貪率ス喰ノ	増減	モノチーテ (%)
		一	士	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	91	9	0	0	1.09	100.0	0	1	
	100	0	82	18	0	0	1.18	108.3	+ 8.3	2	
	8	100	0	90	10	0	1.10	100.9	+ 0.9	1	
	24	100	0	84	16	0	1.16	106.4	+ 6.4	0	
	48	100	0	83	17	0	1.17	107.3	+ 7.3	2	
	72	100	0	85	15	0	1.15	105.5	+ 5.5	2	
	96	100	0	91	9	0	1.09	100.0	0	1	

第25表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第22號家兎 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液10cc 1回注射 2220g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對ル度百ニ均分對貪率ス喰	對ル度百ニ均分對貪率ス喰ノ	増減	モノチーテ (%)
		一	士	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	94	6	0	0	1.06	100.0	0	0	
	100	0	90	10	0	0	1.10	103.8	+ 3.8	2	
	8	100	0	90	10	0	1.10	103.8	+ 3.8	2	
	24	100	0	88	12	0	1.12	105.6	+ 5.6	1	
	48	100	0	83	14	3	1.20	113.2	+13.2	2	
	72	100	0	90	10	0	1.10	103.8	+ 3.8	2	
	96	100	0	96	4	0	1.04	98.1	- 1.9	2	

第26表 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1 回注入實驗成績ノ總括

注入濃度 (%)	注入液量 (cc)	「ブローム Ca 絕對量 (g)	葡萄糖絕對量 (g)	對照平均貪喰度ニ對スル百分率ノ増減(+)(-)					
				4 時間後	8 時間後	24 時間後	48 時間後	72 時間後	96 時間後
5	1	0.05	0.1	- 1.0	+ 9.4	+ 7.5	0	0	
"	"	"	"	- 1.0	+ 3.8	+ 3.8	+ 1.0	- 1.0	
概 略 平 均				- 1.0	+ 6.6	+ 5.7	+ 0.5	- 0.5	
5	5	0.25	0.5	0	+ 3.7	+13.0	+ 8.3	+ 1.8	
"	"	"	"	+ 5.6	+ 7.5	+18.7	+ 8.4	0	
概 略 平 均				+ 2.8	+ 5.6	+15.9	+ 8.4	+ 0.9	
5	10	0.5	1.0	+ 8.3	+ 0.9	+ 6.4	+ 7.3	+ 5.5	0
"	"	"	"	+ 3.8	+ 3.8	+ 5.6	+13.2	+ 3.8	- 1.9
概 略 平 均				+ 6.1	+ 2.4	+ 6.0	+10.3	+ 4.7	- 1.0

第3項 10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液ノ 1 回注入成績

10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1 回注入ノ家兔皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス成績ハ、第27表乃至30表並ビニ第3圖ニ示セルガ如シ。

10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1 cc (絕對量「ブローム Ca 0.1g, 葡萄糖 0.1g) 1 回注入ニ於テ第23號家兔ハ注入 4 時間後ハ -2.7% ノ機能低下ヲ示シ、8 時間後ハ 6.2% ノ機能充進ヲ示シ、24 時間後ハ 5.3% ノ機能充進ヲ示シ、48 時間後對照ニ復セリ。

第24號家兔ニ於テ注入 4 時間後ハ變化ヲ認メズ、8 時間後ハ 7.6% ノ機能充進ヲ示シ、24 時間

後ハ 5.7% ノ機能充進ヲ示シ、48 時間後モ尙機能充進ヲ保チ、72 時間後對照ニ復セリ。

上記 2 例ニ依リ之ヲ觀ルニ 10% 1 cc 注入ニ於テハ注入 4 時間後ハ變化ヲ認メズ、8 時間後ハ 6.9% ノ機能充進ヲ示シ、24 時間後ハ 5.5% ノ機能充進ヲ示シ、72 時間後對照ニ復セリ。

10% 「ブローム Ca 葡萄糖溶液 10cc (絕對量「ブローム Ca 1.0g, 葡萄糖 1.0g) 1 回注入ニ於テ第25號家兔ハ注入 4 時間後ハ -6.5% ノ機能低下ヲ示シ、8 時間後ハ恢復シテ略對照ニ近ク、24 時間後ハ却ツテ 9.3% ノ機能充進ヲ示シ、48 時間後モ 3.7% ノ充進ヲ保チ、96 時間後對照ニ復セリ。

第27表 皮下組織球墨粒貪喰試驗成績

第23號家兔 10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1 cc 1 回注射 1960g ♂

注射後經過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照度百分率ニ對スル貪喰度	對照度百分率ニ對スル増減	モノチーテ (%)
		—	±	+	++	+++				
		0	1	2	3	4				
對照 (注射前)	100	0	87	13	0	0	1.13	100.0	0	1
4	100	0	90	10	0	0	1.10	97.3	- 2.7	2
8	100	0	82	16	2	0	1.20	106.2	+ 6.2	2
24	100	0	81	19	0	0	1.19	105.3	+ 5.3	1
48	100	0	87	13	0	0	1.13	100.0	0	2
72	100	0	88	12	0	0	1.12	99.1	- 0.9	2

而シテ第25號家兎ニ於テ7cc注入頃ヨリ不安  
粗暴トナリ瞳孔縮少ス。依テ一時注入ヲ中止シ  
靜肅ニ復スルヲ待テテ再ビ注入シ全量10ccニ至

ラシメタリ。注入後ハ呼吸速迫、脱力状態ヲ呈  
セルモ放置スルコト4時間ニシテ輕快セリ。第  
26號家兎ニ於テハ注入後直ニ斃死セリ。

第28表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第24號家兎 10%「ブローム Ca」葡萄糖溶液 1cc 1回注射 1880g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均百分率 ニ對スル貪喰率	對照平均百分率 ニ對スル増減	モノチーテ (%)	
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	0	
	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	2	
	8	100	0	87	13	0	0	1.13	107.6	+ 7.6	1
	24	100	0	89	11	0	0	1.11	105.7	+ 5.7	2
	48	100	0	92	8	0	0	1.08	102.8	+ 2.8	0
	72	100	0	95	5	0	0	1.05	100.0	0	2

第29表 皮下組織球墨粒貪喰試験成績

第25號家兎 10%「ブローム Ca」葡萄糖溶液 10cc 1回注射 1980g ♂

注射後経過	觀察細胞數	貪 喰 度					平均貪喰度	對照平均百分率 ニ對スル貪喰率	對照平均百分率 ニ對スル増減	モノチーテ (%)	
		—	±	+	++	+++					
		0	1	2	3	4					
對照 (注射前)	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	1	
	100	0	99	1	0	0	1.01	93.5	- 6.5	2	
	8	100	0	91	9	0	0	1.09	100.9	+ 0.9	0
	24	100	0	86	10	4	0	1.18	109.3	+ 9.3	2
	48	100	0	88	12	0	0	1.12	103.7	+ 3.7	2
	72	100	0	89	11	0	0	1.11	102.8	+ 2.8	1
96	100	0	92	8	0	0	1.08	100.0	0	1	

第30表 10%「ブローム Ca」葡萄糖溶液 1回注入試験成績ノ總括

注入濃度 (%)	注入液量 (cc)	Ca 絕對量 (g)	葡萄糖 絕對量 (g)	對照平均貪喰度ニ對スル百分率ノ増減(+)(-)					
				4時間後	8時間後	24時間後	48時間後	72時間後	96時間後
10	1	0.1	0.1	- 2.7	+ 6.2	+ 5.3	0	- 0.9	
"	"	"	"	0	+ 7.6	+ 5.7	+ 2.8	0	
概 略 平 均				- 1.4	+ 6.9	+ 5.5	+ 1.4	- 5.0	
10	10	1.0	1.0	- 6.5	+ 0.9	+ 9.3	+ 3.7	+ 2.8	0

### 第3章 總括及ビ考按

家兔耳靜脈内 = 10% 葡萄糖溶液ヲ 1 回又ハ連續 5 回注入シ、其皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒 貪喰機能ニ及ボス影響ヲ時間的ニ檢索セル成績ヲ總括スレバ第 7 表、12 表、A 圖及ビ B 圖ニ示セルガ如シ。

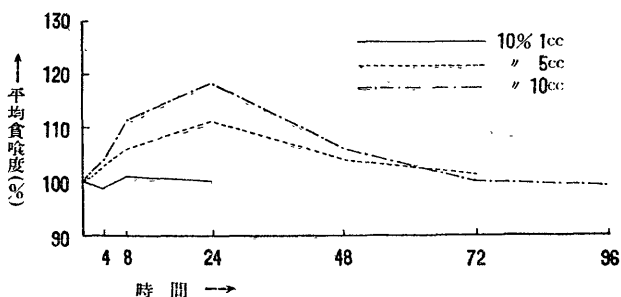
1. 1 回注入實驗成績ハ次ノ如シ、10% 葡萄糖溶液 1 cc 1 回注入ニ於テハ皮下組織球ノ貪喰機能ニ殆ド影響ヲ認メズ、10% 5cc 注入ニ於テハ注入 4 時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8 時間後ハ 6.0%、24 時間後ハ 11.1% ノ機能充進ヲ示シ、72 時間後對照ニ復セリ。10% 10cc 注入ニ於テハ注入 4 時間後ヨリ 3.7% ノ機能充進ヲ示シ、8 時間後ハ 11.3%、24 時間後ハ 18.3% ノ機能充進ヲ示シ、48 時間後モ尙 5.7% ノ機能充進ヲ示シ、72 時間後對照ニ復セリ。

2. 10% 葡萄糖溶液ノ連續注入實驗ヲ見ル

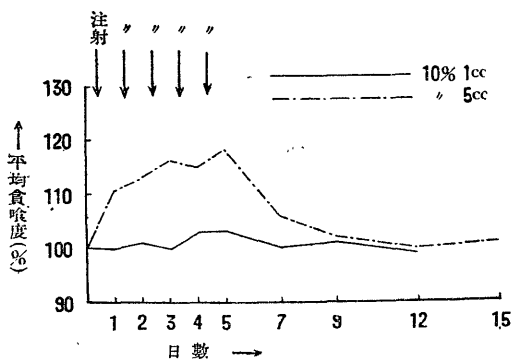
ニ、10% 1cc ヲ 1 日 1 回宛 5 日間連續注入シ、總量 0.5g = 達セル場合ニ於テハ實驗第 1、2、3 日目マデハ殆ド變化ヲ認メズ、4 日目ヨリ僅ニ機能充進ヲ示シ、5 日目ハ 3.2% ノ機能充進ヲ示シ、7 日目對照ニ復セリ。10% 5cc ヲ 1 日 1 回宛 5 日間連續注入シ、總量 2.5g = 達セル場合ニ於テハ實驗第 1 日目ヨリ 11.0% ノ機能充進ヲ示シ、3 日目ハ 16.0%、5 日目ハ 18.3% ノ機能充進ヲ示セリ。7 日目ニモ尙 5.5% ノ機能充進ヲ示シ、12 日目對照ニ復セリ。

3. 皮下組織球ノ形態ヲ見ルニ、機能充進ヲ示セル場合ニ於テハ、1 回注射ニ於テモ連續注射ニ於テモ共ニ、細胞著シク大トナリ、且ツ「ノイトラール 赤超生體染色モ亦可良ニシテ美麗ナル形態ヲ示セリ。

A 圖 1% 葡萄糖溶液 1 回注入試驗



B 圖 10% 葡萄糖溶液連續注入成績



家兔耳靜脈内 = 3%、5% 及ビ 10% ノ「ブローム Ca 葡萄糖溶液ヲ 諸種ノ量ニ 1 回注入シ、其皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス影響ヲ時間的ニ檢索セル成績ヲ總括スレバ次ノ如シ (第 31 表並ビニ第 1 圖、2 圖及ビ 3 圖參照)。

1. 3% 「ブローム Ca 葡萄糖溶液 1 cc 1 回注入ニ於テハ殆ド影響ヲ認メズ、3% 5cc 注入ニ於テハ 4 時間後ハ殆ド變化ヲ認メズ、8 時間後ハ 6.6% ノ機能充進ヲ示シ、24 時間後ハ 14.1% ノ機能充進ヲ示シ、48 時間後モ 7.5% ノ充進ヲ



保チ、72時間後對照ニ復セリ。3% 10cc 注入ニ於テハ4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ14.1%ノ充進ヲ示シ、24時間後ハ最高ニシテ28.6%ノ機能充進ヲ示セリ。48時間後モ20.7%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1cc 1回注入ニ於テハ4時間後ハ變化ヲ認メズ、8時間後ハ6.6%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ5.7%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後對照ニ復セリ。5% 5cc 注入ニ於テハ4時間後ヨリ機能充進ノ傾向ヲ示シ、8時間後ハ5.6%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ15.9%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後ハ8.4%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。

5% 10cc 注入ニ於テハ4時間後ハ6.1%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ6.0%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後ハ10.3%ノ充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

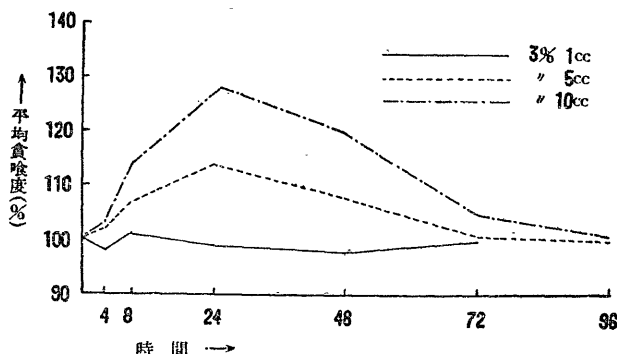
10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1cc 1回注入ニ於テハ8時間後ハ6.9%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ5.5%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。10% 10cc 注入ニ於テハ4時間後ハ-6.5%ノ機能低下ヲ示シ、8時間後ハ對照ニ近ク恢復シ、24時間後ハ9.3%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ハ少量及ビ中等量注入スルモ家兎ニハ何等ノ副作用ヲ認メザリキ。

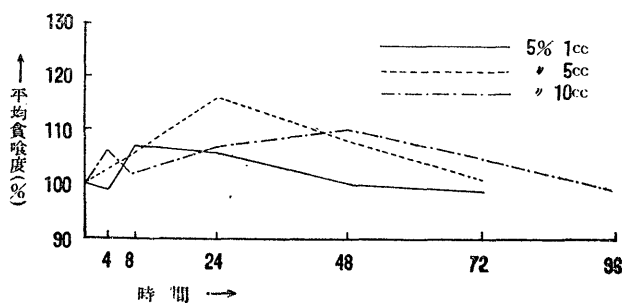
第31表 同一濃度、同一液量ニ就キ平均セル成績  
(第7表、14表及ビ18表参照)

注入濃度 (%)	注入液量 (cc)	「ブローム Ca」絕對量 (g)	葡萄糖絕對量 (g)	對照平均貪喰度ニ對スル百分率ノ増減(+)(-)					
				4時間後	8時間後	24時間後	48時間後	72時間後	96時間後
3	1	0.03	0.1	-1.9	+1.0	-1.0	-1.9	0	
"	5	0.15	0.5	+1.8	+6.6	+14.1	+7.5	+1.0	0
"	10	0.3	1.0	+3.2	+14.1	+28.6	+20.6	+4.7	+1.0
5	1	0.05	0.1	-1.0	+6.6	+5.7	+0.5	-0.5	
"	5	0.25	0.5	+2.8	+5.6	+15.9	+8.4	+0.9	
"	10	0.5	1.0	+6.1	+2.4	+6.0	+10.3	+4.7	-1.0
10	1	0.1	0.1	-1.4	+6.9	+5.5	+1.4	-0.5	
"	10	1.0	1.0	-6.5	+0.9	+9.3	+3.7	+2.8	0

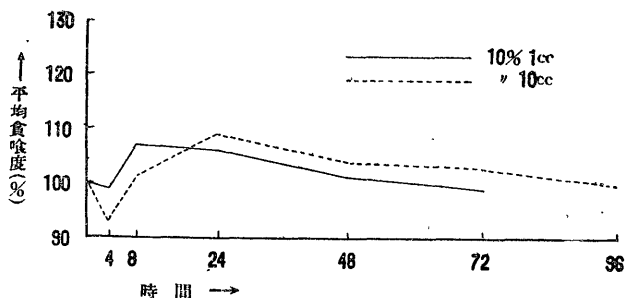
第1圖 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」注入成績



第2圖 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液注入成績



第3圖 10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液注入



然レ共10%10ccノ如キ大量注入ニ及ビテ家兎ハ不安粗暴トナリ、呼吸速迫、脱力状態ヲ示セリ。而シテ1頭ハ放置セルコト4時間ニシテ輕快セルモ、他ノ1頭ハ注入後直チニ斃死セリ。

2. 皮下組織球ノ形態ヲ見ルニ、機能充進ニ一致シテ、細胞著シク大トナリ且ツ「ノイトラール赤超生體染色モ著シク良好ニシテ美麗ナル形態ヲ示セリ。

3. 今之等ノ成績ヲ「ブローム Ca 及ビ葡萄糖ノ絶對量ヨリ通覽スルニ、第32表及ビ第4圖ニ示セルガ如ク其成績ハ注入セル「ブローム Ca 及ビ葡萄糖ノ絶對量ニ支配セラル、ヲ認メ得ベシ。

即チ絶對量「ブローム Ca 0.03g, 葡萄糖 0.1g, 注入ニ於テハ殆ド變化ヲ認メズ、絶對量「ブローム Ca 0.05—0.1g, 葡萄糖 0.1g, ニ於テハ4時間後ハ變化ヲ認メズ、8時間後ハ6.8%, 24時間後ハ5.6%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後對照ニ復セリ。絶對量「ブローム Ca 0.15—0.25g, 葡萄

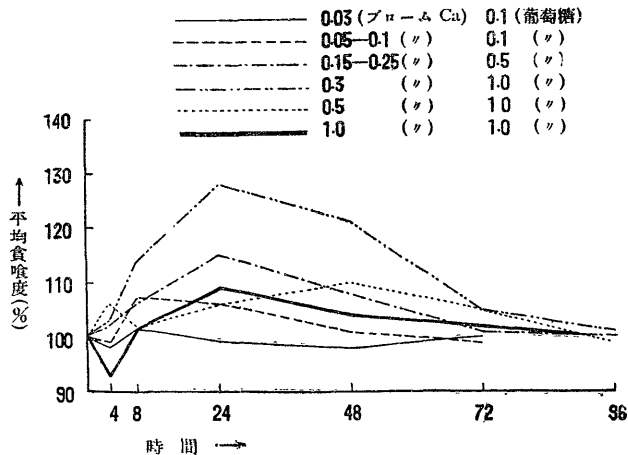
糖 0.5g, 注入ニ於テハ4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ6.1%, 24時間後ハ15.0%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後モ7.9%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。絶對量「ブローム Ca 0.3g, 葡萄糖 1.0g, 注入ニ於テハ4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ14.1%ノ充進ヲ示シ、24時間後ハ最高ニシテ28.6%ノ機能充進ヲ示セリ。48時間後ハ20.6%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後モ4.7%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

絶對量「ブローム Ca 0.5g, 葡萄糖 1.0g, 注入ニ於テハ4時間後ハ6.1%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後モ6.0%ノ充進ヲ示シ、48時間後ハ10.3%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後ハ4.7%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。絶對量「ブローム Ca 1.0g, 葡萄糖 1.0g 注入ニ於テハ4時間後ハ—6.5%ノ機能低下ヲ示シ、8時間後ハ對照ニ近ク恢復シ、24時間後ハ9.3%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

第32表 絶對量ヨリ通覽セル成績

プロ- △Ca絶 對量 (g)	葡萄 糖 絶對 量 (g)	「プロ- △Ca注 入濃度 (%)	注 入 液 量 (cc)	對照平均貪喰度ニ對スル百分率ノ増減(+)(-)					
				4時間後	8時間後	24時間後	48時間後	72時間後	96時間後
0.03	0.1	3	1	-1.9	+1.9	0	-1.9	0	
"	"	"	"	-1.9	0	-1.9	-1.9	0	
概 略 平 均				-1.9	+1.0	-1.0	-1.9	0	
0.05	0.1	5	1	-1.0	+9.4	+7.5	0	0	
"	"	"	"	-1.0	+3.8	+3.8	+1.0	-1.0	
0.1	0.1	10	1	-2.7	+6.2	+5.3	0	-0.9	
"	"	"	"	0	+7.6	+5.7	+2.8	0	
概 略 平 均				-1.2	+6.8	+5.6	+1.0	-0.5	
0.15	0.5	3	5	+1.9	+4.8	+11.4	+7.6	+1.9	0
"	"	"	"	+1.8	+8.3	+16.7	+7.4	0	0
0.25	"	5	5	0	+3.7	+13.0	+8.3	+1.8	
"	"	"	"	+5.6	+7.5	+18.7	+8.4	0	
概 略 平 均				+2.3	+6.1	+15.0	+7.9	+0.9	0
0.3	1.0	3	10	+4.5	+9.1	+19.1	+16.4	+1.8	0
"	"	"	"	+1.9	+19.0	+38.1	+24.8	+7.6	+1.9
概 略 平 均				+3.2	+14.1	+28.6	+20.6	+4.7	+1.0
0.5	1.0	5	10	+8.3	+0.9	+6.4	+7.3	+5.5	0
"	"	"	"	+3.8	+3.8	+5.6	+13.2	+3.8	-1.9
概 略 平 均				+6.1	+2.4	+6.0	+10.3	+4.7	-1.0
1.0	1.0	10	10	-6.5	+0.9	+9.3	+3.7	+2.8	0

第4圖 絶對量ヨリ通覽セル成績



生物生存上重要ナル機能ヲ有スル網狀織内被細胞系ト葡萄糖トノ關係ニ就テハ、白井、田村、Koster, Goldzieher, Collens, 河野及比山浦氏等ノ實驗アリ。

白井氏ハ動物皮下ニ葡萄糖溶液ヲ注射シテ其皮下組織球ノ鶏赤血球貪喰機能ヲ檢シ1%溶液ニ於テハ最モ著明ニ機能充進ヲ示スモ、其レ以上ノ濃度ニ於テハ却ツテ抑制的ニ作用スト云ヘリ。田村氏ハ食鹽水ト葡萄糖液トノ混合液ヲ家兎血液ト等滲透壓ナラシメテ、皮下組織球ノ貪喰ヲ檢セリ。而シテ葡萄糖ガ0.41%ニ達スル迄ハ貪喰機能ノ増進ヲ示スモノナリト云ヘリ。又河野氏ハ Ringer 氏液ト葡萄糖液トノ混合液ニ於テ其葡萄糖ガ0.3%ニ於テ最モ皮下組織球ノ貪喰機能ヲ充進セシメ、5%ニ於テハ著明ニ抑制的ニ作用スト云ヘリ。又 Koster, Goldzieher, Collens 氏ニ依レバ20%葡萄糖液250ccヲ靜脈内ニ注入シ、肝臟ノ星芒細胞ノ貪喰機能ヲ檢セルニ葡萄糖注入ニ依リ著明ニ機能充進ヲ示スヲ認メタリト。

又山浦氏ハ家兎耳靜脈内ニ葡萄糖溶液ヲ注入シテ、其皮下組織球ノ墨粒貪喰機能ヲ檢シ、10%1ccニ於テハ殆ド影響ヲ認メズ。10%5cc注入ニ於テハ5時間後ヨリ機能充進ヲ示シ24時間後ハ15.8%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ近似セリ。10%10cc注入ニ於テハ注入5時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ31.6%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復スト云ヘリ。

即チ今余ノ10%葡萄糖溶液注入實驗ト山浦氏ノ葡萄糖液注入實驗トヲ比較スルニ、共ニ少量注入ニ依リ影響ヲ認メズ、適量注入ニ依リ著シク機能充進ヲ示シ、略類似ノ傾向ヲ示スヲ認メシメタリ。

皮下網狀織内被細胞系ト「カルチウム鹽類トノ關係ニ就テハ第1報以來詳述セル所ナリ。而シテ試験管内ニ於テ鹽化Ca溶液ノ皮下組織球ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス影響ヲ檢索セルモノニ田村氏ノ實驗アリ。氏ニ依レバ等張液1.3%ニ於テ最モ好影響ヲ示シ平均貪喰度0.78、生存期間7.0時間ナリト云フ。

又動物體內ニ鹽化Ca溶液ヲ注入シテ皮下組織球ノ細菌又ハ赤血球貪喰機能ヲ檢セルモノニ驚見、白井兩氏ノ實驗アリ。氏等ニ依レバ1%濃度ニ於テハ貪喰機能最モ旺盛ニシテ、5%溶液ニ於テハ貪喰機能著シク障碍セラル、ト云フ。

武居氏ハ鹽化Ca溶液ヲ家兎靜脈内ニ注入シ、其皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ヲ檢セルニ、微量1.3%1ccニ於テハ何等ノ影響ヲ認メズ、中等量1.3%5cc、10%1ccニ於テハ機能最モ旺盛ニシテ20%内外ノ充進ヲ示シ、大量10%4cc注入ニ於テハ貪喰機能著シク阻礙セラレ38%ノ機能低下ヲ示スト云ヘリ。

余ノ曩ニ報告セル「ブロームCa溶液1回注入ニ於テハ、3%1ccニ於テ24時間後極メテ弱キ機能充進ヲ示シ、48時間後對照ニ復セリ。

5%1cc注入ニ於テハ8時間後ハ3.5%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ4.7%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。10%1cc及ビ3%5ccニ於テハ8時間後ハ6.2%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ4.0%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。

5%5cc及ビ3%10cc注入ニ於テハ8時間後ハ7.5%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ最高ニシテ12.9%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。5%10cc注入ニ於テハ8時間後ハ-9.8%ノ機能低下ヲ示シ、24時間後ハ略恢復スルモ尙僅ニ機能低下ヲ示シ、48時間後ハ却ツテ6.1%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。10%10cc注入ニ於テハ8時間後ハ-17.1%ノ機能低下ヲ示シ、24時間後モ-11.4%ノ機能低下ヲ示シ、48時間後死亡セリ。

今「ブロームCa溶液注入ト「ブロームCa葡萄糖溶液注入ノ場合トヲ比較スルニ、微量3%1ccニ於テハ共ニ殆ド變化ヲ認メザルモ、其レ以上ニ於テハ「ブロームCa葡萄糖溶液ハ「ブロームCa溶液注入ニ比シ機能充進ノ度顯著ナルヲ認メシメタリ。而シテ「ブロームCa溶液ノ大量(5%10cc及ビ10%10cc)注入ニヨリテ機能低下(-9.8,-17.1%)ヲ示セル場合ニ於テモ、「ブ

ローム Ca 葡萄糖溶液ノ大量(5%10cc 及ビ10%10cc) 注入セル場合ニ於テハ機能低下ヲ示サザルカ或ハ僅ニ機能低下ヲ示シ(-6.5%), 24時間後ハ却ツテ中等度ノ機能充進(9.3%)ヲ示スヲ認メシメタリ。

又3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ヲ注入ト葡萄糖溶液ヲ注入トヲ比較スルニ、「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ヲ注入ニ於テハ單獨葡萄糖溶液ヲ注入ニ比シ著シク機能充進ノ度強キヲ認メシメタリ。

## 結 論

余ハ家兔ニ10%葡萄糖溶液ノ1回及ビ連續注入、並ビニ諸種濃度ノ「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ノ種々ナル量ヲ1回耳靜脈内ニ注入シ、其皮下網狀織内被細胞系ノ墨粒貪喰機能ニ及ボス影響ヲ時間的ニ檢索シ、次ノ如キ結論ヲ得タリ。

### 第I. 10%葡萄糖溶液

1. 10%葡萄糖溶液1cc(絶對量0.1g)1回注入ニ於テハ、皮下組織球ノ墨粒貪喰機能ニハ殆ド影響ヲ認メズ。

2. 10%葡萄糖溶液5cc(絶對量0.5g)1回注入ニ於テハ注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ6.0%ノ充進ヲ、24時間後ハ11.1%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。

3. 10%葡萄糖溶液10cc(絶對量1.0g)1回注入ニ於テハ注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ11.3%ノ充進ヲ、24時間後ハ18.3%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。

4. 10%葡萄糖溶液1ccヲ1日1回宛5日間連續注入シ、總量0.5gニ達セル場合ニ於テハ實驗第1, 2, 3日目迄ハ變化ヲ認メズ、4日目ヨリ機能充進ヲ示シ、5日目ハ3.2%ノ機能充進ヲ示シ、7日目對照ニ復セリ。

5. 10%葡萄糖溶液5ccヲ1日1回宛5日間連續注入シ、總量2.5gニ達セル場合ニ於テハ實驗第1日目ヨリ11.0%ノ機能充進ヲ示シ、3日目ハ16.0%ノ充進ヲ、5日目ハ18.3%ノ機能充進ヲ示シ、7日目は於テモ尙5.5%ノ機能充進ヲ示シ、12日目對照ニ復セリ。

### 第II. 「ブローム Ca 葡萄糖溶液」

6. 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1cc(絶對量「ブローム Ca 0.03g, 葡萄糖0.1g)1回注入ニ於テハ殆ド影響ヲ認メズ。

7. 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」1cc及ビ10%1cc(絶對量「ブローム Ca 0.05—0.1g, 葡萄糖0.1g)1回注入ニ於テハ、4時間後ハ變化ヲ認メズ、8時間後ハ6.8%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ5.6%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。

8. 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」5cc及ビ5%5cc(絶對量「ブローム Ca 0.15g, 葡萄糖0.5g)1回注入ニ於テハ4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ6.1%ノ充進ヲ示シ、24時間後ハ15.0%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後ハ7.9%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後對照ニ復セリ。

9. 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」10cc(絶對量「ブローム Ca 0.3g, 葡萄糖1.0g)1回注入ニ於テハ注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、8時間後ハ14.1%ノ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ最高ニシテ28.6%ノ機能充進ヲ示セリ。48時間後ハ20.6%ノ機能充進ヲ示シ、72時間後モ尙4.7%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

10. 5%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」10cc(絶對量「ブローム Ca 0.5g, 葡萄糖1.0g)1回注入ニ於テハ注入4時間後ヨリ機能充進ヲ示シ、24時間後ハ6.0%ノ充進ヲ、48時間後ハ10.3%ノ機能充進ヲ示セリ。72時間後モ尙4.7%ノ機能充進ヲ示シ、96時間後對照ニ復セリ。

11. 10%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」10cc(絶對量「ブローム Ca 1.0g, 葡萄糖1.0g)1回注入ニ於テハ注入4時間後ハ-6.5%ノ機能低下ヲ示シ、8時間後ハ略對照ニ近ク、24時間後ハ9.3%ノ機能充進ヲ示シ、48時間後モ尙3.7%ノ機能充進ヲ保チ、96時間後對照ニ復セリ。

12. 3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液」ヲ注入ト葡萄

糖溶液及ビ「ブローム Ca 溶液注入トヲ比較スルニ、3%「ブローム Ca 葡萄糖溶液ニ於テハ機能亢進ノ度最モ顯著ニシテ、次ハ葡萄糖、「ブローム Ca ノ順ナリ。

13. 皮下組織球ノ形態ヲ見ルニ機能亢進ニ一  
致シテ細胞著シク大イサヲ増シ、「ノイトラール赤超生體染色モ亦可良ニシテ美麗ナル形態ヲ示セリ。

---

文 獻 後 掲